



2012 年 7 月 29 日 ちがさき災害ボランティア交流会

311 以降、有事に備えてのネットワーク作りを検討し、社協と、茅ヶ崎市と TAJ との協働で今回ちがさき災害ボランティア交流会を開催しました。

近い将来起こりうる災害に備えて、「茅ヶ崎市、社協、市民とのネットワーク作りを」目的としています。現地へ足を運んで感じる場所は、初動の大切さ、またいかに、人の繋がりが(人脈)が大切だと言う事を学びました。「災害が起こってからでは遅い」今から始めようと企画開催しました。当日は約 90 名の市民が集まり、以下のプログラムを開催しました。結果として 37 名の方がネットワークへの参加の意志をされました。この名簿は社協の下で管理されています。今後は、社協中心に近い将来のネットワークを作り上げて行ければと考えています。

場所 2012 年 7 月 29 日 茅ヶ崎市分庁舎6階コミュニティホール

- 開会 13:00 プログラム内容 13:00-13:05 進行(久我、杉崎)
- 茅ヶ崎市長の挨拶 13:05-13:10 服部市長
- 社協会長の挨拶 13:10-13:15 石井会長
- 講演 30 分予定 13:15-13:45 南三陸町戸倉 三浦さき子さん予定 「1 年 4 ヶ月を振り返り茅ヶ崎へ伝えたいこと」
- ワークショップ 40 分 13:50-14:30 参加者全員 テーマ「ここ茅ヶ崎での災害へのそなえとは」
- 休憩 10 分 14:30-14:40
- 発表 10 チーム 14:40-15:40(発表 3 分質疑 2 分)
- 交流会 20 分予定 15:40-16:00
- 閉会 16:00

ワークショップで上がったキーワードをまとめました。

- ひきこもりの人への対応。
- 自治会との連携。
- 孤立しないために、データーベース化。
- 3 日間生き延びる為に。
- VC 知識のデーターベース化。
- 地域とつながる。

2ページ目は作成したポスターです。

以上 Team Aid for Japan ～ しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア 代表 久我真





天災から逃れることはできないけど、
街の力があつまれば、できることあるはず。
茅ヶ崎は、今からはじめよう。



被災地支援経験のある
個人ボランティア、
市民グループ、各種法人、
ボランティア団体など
ご参加を
お待ちしております。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、甚大な被害をもたらし、今も助けを必要とされているなか、皆様の助けたいという強い気持ちを持って臨んだボランティアは、これまで被災した方々にとって大きな支えになっています。そこで近い将来起こりうる災害に備えて市民ネットワーク作りを目指したいと考えます。

ちがさき災害ボランティア交流会 ～ つなごうサザンC ～

2012.7.29(日) 13:00～16:00(開場 12:30) 茅ヶ崎市分庁舎6階コミュニティホール

定員/200名(先着順) 参加費/無料 参加申込/茅ヶ崎市社会福祉協議会
申込方法/TEL.0467-85-9650(平日8:30～17:15) FAX.0467-85-9651 E-mail shakyo-chigasaki@nifty.com(件名:ちがさき災害ボランティア交流会申込み)
主催/茅ヶ崎市災害救援ボランティア支援センター(茅ヶ崎市、茅ヶ崎市社会福祉協議会) 協力/Team Aid for Japan～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア

